

国際シンポジウム

世界が告発する フクシマの現状

—東京五輪で消されゆく原発事故被害—



2020年 **3月21日(土)** (開場12:00) 12:30~16:40

参加費:1,000円

会場: **田町交通会館5Fホール** (東京都港区芝浦3丁目2-22)
JR田町駅芝浦口(東口)より徒歩3分

東京電力・福島第一原発事故から9年、オリンピック目前の3.11を迎えようとしています。震災と原発事故から10年の節目でもある東京五輪は「復興五輪」とも呼ばれ、原発事故から復興する姿を国内外に発信することも大きな目的の一つとされています。しかし、年間被曝量20ミリシーベルトで避難者に帰還を強制し、土地は依然汚染されたまま。それで「復興」を訴えることができるのでしょうか。原子力緊急事態宣言ははまだ出されたままなのです。東京五輪を目前に、大勢の海外メディアが日本にやってきます。私たち「さようなら原発1000万人アクション」は、福島第一原発事故が収束するどころか、健康被害はさらに拡大していること、収束作業や除染作業などで被ばく労働が差別労働によってもたされていること、被害者への賠償や避難者の住宅提供を打ち切り、住民の分断をはかっている現状を世界に訴えていくことを目的に、表記の国際シンポジウムを開催します。20日の「さようなら原発全国集会」(於・亀戸中央公園)と連日の開催となりますが、多くの方のご参加をお待ちしています。

主催: さようなら原発1000万人アクション
問合せ: TEL.03-5289-8224
Email: sayonara2nukes@gmail.com

